



2012年12月17日

衆院総選挙及び東京都知事選挙の結果を受けて

このたびの衆院選におきましては、残念ながら、私ども幸福実現党から当選者を出すには至りませんでした。共に選挙戦を戦って下さった党員の皆様、ご支持くださいました有権者の皆様に、心よりお詫び申し上げますとともに、これまでのご支援に深く感謝、御礼申し上げます。

近隣諸国による軍事的脅威の高まりや長引く景気低迷、さらに脱原発など、まさに「日本、危うし！」と言うべき状況に直面しつつある中、幸福実現党は「防衛力、経済力、原子力、3つの力で日本復活」を掲げ、戦ってまいりました。

日を追うごとに支援は着実に広がり、ご支持をいただきましたことに、重ねて感謝申し上げる次第です。当選は果たせなかったものの、国難打破に向けた私どもの訴えの一部は、有権者の皆様に確実に届き、世論形成に影響を与えたものと考えております。

今回の衆院選は、自民党の勝利、及び民主党の大敗、第三極の伸び悩みという結果に終わりましたが、有権者の「保守回帰」の傾向は顕著であり、これまでの3年余にわたる幸福実現党の活動が寄与したと自負するものです。

また、衆院選と同じく投開票となった東京都知事選挙では、党公認のトクマ候補の当選には及びませんでした。ご支持いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。党として、今後、東京の活力向上及び国力強化に向けた活動を一層力強く展開してまいります。

私ども幸福実現党は、このたび示された民意をしっかりと受け止めつつも、「宗教心の復権」を通じてこそ国難を突破し、「日本復活」を実現できることを訴えながら、来夏の参院選での議席獲得に向けて不退転の決意で戦ってまいります。

幸福実現党 党首 ついき秀学